

# わくわく園庭日記

蒲幼稚園 No.1 R3,4,6

うらかな春。園庭の花壇には、昨年子どもたちと植えたチューリップが色とりどりの花を咲かせています。私たちは、子どもたちが思いきり遊び込め、いろいろなことに気づき、たくさんの学びができる園庭を目指して園庭研修を進めています。今年で5年目となり、これまでにいろいろなことに取り組んできました。先月、高校や大学への進学が決まった子どもたちが、その報告をしに来てくれた時のこと「幼稚園、変わったね。なんかすごく楽しそう！」と園庭を見てつぶやいていきました。幼稚園だからこそできるたくさんの遊び、こんな時代だからこそ経験させたい様々なことを考えて、今年も園庭改造に取り組んでいきます。このおたよりでは、園庭で見られた子どもの姿を中心に伝えていきます。不定期に発行されますので、お時間があるときにちょっと目を通してみてください。今年度もよろしくお願いいたします。

## 砂場とは…

一級建築士で保育環境アドバイザーである井上寿先生に他園の様々な形の砂場を見せていただきました。私たちは、どんな砂場を作りたいか？イメージを一つにまとめていきました。

## 砂場作り



園庭に出て、丸太を並べていきました。今回作る砂場は、6m×6mの大きさです。こんなに大きな砂場を、本当に私たちに作れるのでしょうか…？



丸太をかすがいで固定していきます。そう、これがかすがいです。「子はかすがい」とはこういうことだったんですね。子どもを中心に家庭と園とも繋がっていいなと思っています。

ここで遊ぶ子どもたちの様子は次号でお伝えします！

砂場に必要なおもちゃや道具がこんなにきれいに収まりました。子どもたちの様子を見て、これからも改良をし、より使いやすいものにしていきます。

## 広い砂場を作りました！

この春休みには、広い砂場を作りました。外遊びに欠かせない砂遊び。子どもは砂遊びを通して、健康な心と体を養い、自ら考える楽しさを味わう、そして身近な物の性質を知り、表現する楽しさを味わう、さらに人と関わる機会を得ることができるなどたくさんのことを学んでいきます。何でも手軽に、そして人との関わりが希薄になってきた今だからこそ、砂場が持つ意味はとて大きいと感じています。広くなった砂場で子どもたちはどんな経験を積んでいくのでしょうか？自分たちで作ったからこそ、ドキドキワクワクが止まりません。  
\*この作業の詳しい様子は、ホームページにてお伝えしますのでご覧ください。



プランターもこんな風にしたら素敵でしょ！これは私たちの講師の先生が作ってくださいました。

思わず座ってみたくなるでしょ！狭いと思っていたスペースが、居心地のいい空間になりました。



ここからが大変な作業でした。用意した砂は、なんと30t。私たちは一輪車やトラいで砂を運び入れました。私たちが作り上げた自慢の砂場です！

## 道具棚作り



外遊びに必要なおもちゃや道具を全て出し、どんな棚を作ったらよいか考えていきました。



工具の使い方にも慣れてきました。みんな協力し合い着々と形になっていくことに達成感を味わいました。

## 机・椅子作り



砂遊びに欠かせない机と椅子も私たちの手作りです。時間を見つけて、もっとたくさんの机と椅子、道具棚を作っていきます。